

# 「大人の条件はきちんとコミュニケーションがとれること」

泉中の生徒をサポートした山崎ケイコさん

行役の三人の女子生徒の指導。このとき

少々シャイで引っ込み思案気味の泉中の子どもたちに、「ともなひまつり」でいろいろな人と接し、「コミュニケーションをとるとききのポイント」を教えたフリーアナウンサーの山崎ケイコさん。ご自身が泉中に通う生徒の親でもあります。



止めることが大事。そして、いっしょにいる人が嫌な思いをしないこと」

当日の子どもたちの様子をお聞きすると「がんばってましたねー」と、弾む声で答えてくれました。

三回。最初は全校生徒でストレッチから始め、徐々に緊張をほぐし、はっきりとした声で相手に届くように声を出す練習や、接客するときの感じの良い対応の練習。そしてあとの二回は司会進行

は、進行の原稿を子どもたちに書かせ、山崎さん自ら実演して見せました。中学生は指導するというより、やって見せた方が早いし、その方が得意だとか。特に素直な子どもたちは吸収が早いといいますが。本番の時に、思った以上に子どもたちが笑顔で楽しんでいました様子に「上手に何かをしなればというのではなく、自分が楽しければ相手も楽しくなるということを感じたのではないかと、目を細めていました。」

## 川崎城の梅を使った梅酒



大槻の(株)富川酒造店では、今年の秋から川崎城跡公園の梅園の梅を日本酒に仕込んだ梅酒を発売しました。矢板市のシンボルのひとつ川崎城は「川崎城跡公園再生市民会議」のメンバーの方々がボランティアでその再生、整備に取り組んでいます。

この公園内の梅園の梅の実は今までは特に活用されておらず、成り行きに任せていた状態でした。そこで、同

市民会議のメンバーである同店の富川社長がリキユール類の製造申請をし、許可を得た今年、川崎城跡の梅を使った梅酒を製造、発売することができました。

日本酒に青梅を仕込み約半年ねかしました。梅のエキスが溶け込んだほんのり甘い味で、女性に好まれる味ではない



川崎城跡の雪と紅梅

## 発売開始

園の梅の実は今までは特に活用されておらず、成り行きに任せていた状態でした。そこで、同

で、女性に好まれる味ではない

また、来春オープン予定の「道の駅」でも販売できるように準備を進めています。

## 市民課

### 市役所でどんなことをしているの？

市民の皆さんの一生におつき合いをするのが市民課窓口です。昨年からパスポート申請もできるようになりましたが、新年度からは組織改革によって、新たに国民年金の年金事務所への取り次ぎなどの業務も行うようになります。ますます市民サービスとの接点として重要になってきます。そんな市民課の実情を増渚英夫課長にお聞きしました。

## 市民満足度100%の窓口を目指して！

●市役所の窓口コンシェルジュ(総合案内役)を... 市役所に来た人がその目的を十分に果たしてもらつたために、訪ねてくる人の不安と緊張を取り除き、笑顔でコミュニケーションをとれるようにしたいですね。しかし、ただ笑顔で応対するだけでなく、市役所の業務を幅広く知って、聞かれたことにご答えられるよう総合案内を充実させ、いずれは市役所の窓口コンシェルジュを作りたいとひそかに思っています。



●嬉しいこと 市民課の窓口は、市民の方の人生の節目節目に関わっていく仕事です。例えば、子どもが生まれたら出生届、結婚したら婚姻届など。幸せそうなカップルが婚姻届を出したとき、「おめでとつございます」と言ったら、「市役所で言われるとは思わなかった!」と感激されたことも。当たり前のことをやっているのに「親切にありがとう」 「お世話になりました」などと聞かれるとジンと来ます。 ●こんな事もできます! 意外でしょうが、市民課の窓口では、所得証明などの簡単な税証明の発行もできます。来年度からは国民年金のご相談もできるようになります。市民と行政の接点として働きますので、悩む前に職員にご相談ください。(O)